

「だまされても被害に遭わせない」特殊詐欺対策

特殊詐欺の被害を防ぐためには、だまされないことはもちろん、だまされても被害に遭わせない仕組みを地域や家庭で整えていくことが大切です。

家庭内における
日常的な
コミュニケーション



関係機関と
連携した取組



AI・ICTの活用の促進



教育・啓発活動への
参加と情報共有の促進



孤立させない地域づくり
(つながり)の促進



防犯カメラについて

犯罪の抑止などに寄与する防犯カメラの設置にあたっては、地域の理解を得ながら、プライバシーにも配慮して適切に運用することが大切です。

設置場所の選定

人目が届きにくい場所や混雑で監視が届きにくい場所等

プライバシー保護

記録映像の目的外利用や不正閲覧の防止等

設置・運用に関する基準

カメラ設置場所には表示板を設置する等



あなたの行動が地域の安全安心を作ります

【お問い合わせ】
長野県 県民文化部 暮らし安全・消費生活課
〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2
電話番号 026-235-7174 電子メール kurashi-shohi@pref.nagano.lg.jp

指針全文はコチラ

長野県
安全で安心な
まちづくり指針



長野県 安全で安心なまちづくり指針

～あなたと始める防犯まちづくり～

犯罪は、特別な場所だけで起きるものではありません。私たちの身近な場所や、日常のすき間にも潜んでいます。この指針では、「場所(環境)」に着目し、次の3つの視点から、犯罪に強いまちづくりを進めることを基本としています。

1 犯罪を行わせない
ためのまちづくり

2 犯罪被害に遭わせない
ためのまちづくり

3 犯罪を見逃さない
ためのまちづくり



安全で安心なまちづくりは、警察や行政だけで実現できるものではありません。

まちづくりの主役は、このパンフレットを手にとったあなた自身です。



エリア別の対策

地域に住む一人ひとりが、身の回りの環境に目を向け、できることから取り組むことが大切です。

Hilly and mountainous areas

中山間地

～支え合いが防犯力になる～

- ▶ 地域防犯ネットワークの構築
- ▶ 情報共有と啓発活動の実施
- ▶ 農作物の盗難被害対策 等

子どもの居場所

～地域の目で子どもを守る～

- ▶ 登下校時等の見守り活動の充実
- ▶ 施設の防犯強化
- ▶ 児童生徒や教員、指導者等への防犯教育 等



School

ながら見守りで地域の安全を守ろう

本編 P4

その訪問、本当に営業目的ですか？

本編 P17

公共空間

～見える環境が安心の第一歩～

- ▶ 見通しの確保と死角の排除
- ▶ 防犯環境設計(*)の導入
- ▶ 地域の連携強化 等

観光地・イベント会場

～楽しさの裏に安全への備え～

- ▶ 人の集中・混雑の緩和
- ▶ 駐車場対策
- ▶ 地域住民との情報共有 等

楽しい旅行が一転

本編 P16

住宅地

～日常の気づきが犯罪を防ぐ～

- ▶ 防犯性の高い製品の導入
- ▶ 地域ぐるみの防犯体制の構築
- ▶ 来訪者の確認の徹底 等

地域住民と関係者による防犯診断

本編 P8

商業施設

～にぎわいの中に目配りを～

- ▶ 非常通報装置の設置
- ▶ 出入口の管理
- ▶ 防犯教育と訓練 等



(*) 防犯環境設計：1970年代にアメリカで生まれた「場所(環境)」に着目する防犯対策の概念。建築物や都市空間の設計を通じて、犯罪が起こりにくい環境を作り出すための考え